

ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市公議員

No.861

11.4.27

みなさんの願いをまっすぐ市政に

公約実現めざしてがんばります。

4月10日投票の県議選では、ふじ健太郎さんを落とす結果となりましたが、24日投票の市議選では、地元のみなさん、赤旗読者や支持者、後援会や党支部、海南・内海支部や県委員会、紀北地区委員会のみなさんの大きなお力で、私、ひめだ高宏を市議会に押し上げていただきました。物心両面のご支援に感謝します。ありがとうございました。

当選証書

右は和歌山市において和歌山市議会議員に当選したことを証明するためここに当選証書を附与する
平成二十三年四月二十五日
和歌山市選挙管理委員会
委員長 岩城 茂樹

姫田高宏殿

私、ひめだ高宏は、選挙で防犯と福祉のまちづくりを訴えました。

大津波警報による避難勧告を放送した市の防災無線が、まったく聞こえなかつた。

たという声寄せられまし
た。総合防災課に聞くと市
内に123基ある防災無線
は津波の避難対象地域をカ
バーできていないとのこと。
また市の消防力は国基準の
70%。私、ひめだは、これ
らの改善を求めます。
また国保料引き下げや介
護保険の負担軽減、子ども
の医療費無料化の中学校卒
業までの拡大、若い人や中
高年の働く場の確保、商店
街の振興など、アンケート
や村話で寄せられた要望の
実現めざしてがんばります。

日本共産党
和歌山市の選挙
県議選
奥村のり子 7,029
藤井健太郎 6,400
計 13,429
市議選
ひめだ高宏 2,558
森下ち子 2,540
廣畑ち子 2,343
渡辺忠広 2,302
松坂みち子 2,184
中村あす子 1,976
計 13,903

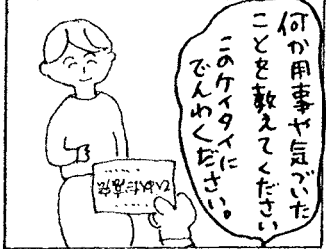
国・県・市政への注文・要望を
お寄せください。
080-415-3951
ひめだ高宏まで。

7/11の 人々

644



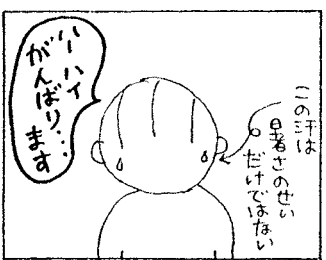
「最後の
3票はうちの
家族の分だけ」



「何か用事や急ぎたい
ことを教えてください
このケイタイに
でんわください」



「もうそろそろ時刻に
当選がわかるよな
がんばって」



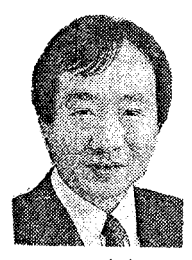
「お母さんのせい
でなければ
はいはい
がんばります」

こんにちは ふじ健太郎

前
会議員の
ふじ健太郎
です。
(その288)

いっせい地方選挙が終
わりました。日本共産党
へのご支援、ありがとうございます。
ございました。

市議候補の松坂みち子の
選挙責任者として市会議
員選挙をたたか、てきま
ました。定数が削減される
もとで、皆様のご支援を
いただき、ひめだ高宏の
議席回復をはじめ前回改
選時のら議席を得させて
いただきました。今後、
市会議員団の活動とも連
携しながら、くらし・福
祉守る自治体づくりに、
がんばってまいります。



ふじ健太郎
前 県議員

前半戦の県議選挙では、
私、ふじ健太郎は力不
足で議席に届かず、奥村
規子さんのみの当選とな
りました。ご支援いただ
きました皆様深くおわ
び申し上げます。
選挙では、災害に強い
町づくり、原形に頼らな
い町づくり、働く場と雇
用の拡大、医療や福祉の
充実を訴えてまいりまし

福島から避難してきた方の話

4月15日(金)午前中、紀三井寺田地の雇用促進住宅付近でハンドマイク宣伝をしていると、そこにお住まいの男性が「ちよっと部屋に来てお茶でも飲まないか」と声をかけてくれました。話をよく聞くと、なんと東日本大震災の被災者で2人の娘さんが和歌山市に嫁いでいる関係で和歌山に避難生活をしているとのこと

と。その方は、あの放射能も水の事故を起こしている福島第1原発のある双葉町から20km圏内にある富岡町という町で奥さんと大どくらしていたとか。66才で年金生活。30年来子とも達に剣道を教えてきたとのことでした。あの津波で家がつぶれ4日間、車の中で過ごしたとか。それまで津波の心配などしたことがなかった。

た。震災は、自分の生きがいと愛犬を奪ったと、落ちついてみると、福島にいる知人や教え子の消息が気になり、自分たちだけがふつうの生活をしていること

反省!!「しゃべりすぎた」国地演説会

市会議員選挙本番の演説会は、19日の紀三井寺田地自治会館と20日の塩屋・たから幼稚園の2カ所でした。国地の演説会は、出だしが好調だったため調子に乗

って福島から来た方の話など時間を忘れて快進の演説：これが私だけの錯覚だ、たとは：アーマー! 15分の持ち時間の倍以上しゃべったそうです。つるた元県議が日本人がいいと思って聞いてる方はどうではない。演説とはむづかしいモノだとつぶやいたとか。

こんにちは 日本共産党



県議選でふじい健太朗さんの議席を失うという事態から、市議選への取り組みが始まりました。そのなかで、ひめだ高宏さんはじめ4人が当選し、

4年前に獲得した議席は、確保しました。選挙戦のなかではいろいろなドラマがありました。ひめだ候補が紀三井寺駅で演説したら、客待ちをしたいたタクシードライバーの人が「海南の中山県議に世話になった。共産党の議員はすぐに話を聞いてくれる」と問題を解決してくれる」

人は「いつも奥さんが利用してくれる」と。塩屋の方は「和歌山に住む娘から初めて銀行員のとき世話になったので、ひめださんを」と頼まれたと話してくれました。1票、1票の積み重ねが市民の暮らしを守る共産党の議席につながりました。(下角 カ)

ひめだ高宏ニュース昔の名前で呼んでいます

「ひめだニュース」は、今号から年4回の定例議会前後は毎週発行を、それ以外は少なくとも月3回の発行をめざします。また、発行号数は初当選の91年6月4日号(1号)から4期分760号と4年分1000号の通算にしました。また賛否両論ありますが、機関紙協会の版下用紙が手に入る限り当面手書きで発行させていただきます。引き続き

「愛読をお願します。短歌や俳句、川柳などの投稿率直なご意見を寄せください。今期は、ニュース発行、訪問対話、生活相談や地域の要求掘り起こしに加え、新たにミニビラの発行や朝の宣伝、ひめだブログ、カーホームページ開設など4年後を見据えて世間一般に広くアピールする活動を展開したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

第82回 和歌山県中
メーデー
5月1日(日)
朝9時半合 9時半開会
和歌山城
西の丸広場
東日本大震災 復興対策
心掛 開催 赤上 代は被災地